

授業科目 がん治療看護学

【担当教員名】 手島 美子		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○		
【概要】 がんの発生および死亡の動向に対する国の対策をふまえ、がん患者に対する基本的看護、がんの予防、早期発見の必要性を理解する。がん治療に伴う倫理的問題を理解し、がん患者の病期の変化に伴う治療と病状や苦痛・苦悩を理解し、患者・家族のQOLの維持・向上をアプローチする必要性を理解する。					
【行動目標：SB0】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. がんの疫学、病態、治療の特殊性を説明できる。 2. 抗がん剤の副作用のメカニズムについて説明できる。 3. がん治療に伴う基本的看護：化学療法を受ける患者の看護について説明できる。 4. がん治療に伴う基本的看護：放射線療法療法を受ける患者の看護について説明できる。 5. がん治療に伴う基本的看護：手術療法を受ける患者の看護について説明できる。 6. がん臨床病期における患者の心理的危機と看護について説明できる。 7. がん治療におけるチームアプローチについて理解する 8. がん治療における倫理的課題と看護の役割について理解する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	がんの疫学、病態、治療の特殊性、抗がん剤の副作用のメカニズム			1.2	講義、担当：手島 美子
2	がん治療に伴う基本的看護：化学療法を受ける患者の看護			3	講義、担当：手島 美子
3	がん治療に伴う基本的看護：放射線療法療法を受ける患者の看護			4	講義、担当：手島 美子
4	がん治療に伴う基本的看護：手術療法を受ける患者の看護			5	講義、担当：手島 美子
5	がん臨床病期における患者の心理的危機と看護			6	講義、担当：手島 美子
6	がん治療におけるチームアプローチ			7	講義、担当：手島 美子
7	がん治療における倫理的課題と看護の役割			8	講義、担当：手島 美子
8	まとめ			1-8	講義、担当：手島 美子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ナースのためのやさしくわかる がん化学療法	坪井 正弘他	ナツメ社	2013・2,500円＋税
参考書		講義録 腫瘍学	高橋 和久他	メディカルビュー社	2009・5,000円＋税
その他の資料		必要時教員が準備します			
【評価方法】 定期試験 100%			【履修上の留意点】 参考書を活用し、自主的に学習する。		